中3 英語 本文 & 本文訳 Unitl Partl 南アフリカってどんな国

Today, I want to tell you about my country, the Republic of South Africa.	今日は、私の国、南アフリカ共和国について皆さんにお話ししたいと思います。
It's here, at the southern tip of African continent.	南アフリカ共和国はここ、アフリカ大陸の南端にあります。
We are called the "Rainbow Nation" because of our cultural diversity.	私たちの国は、その文化的多様性から、「レインボーネーション(虹の国)」と呼ばれています。
English is spoken as an official language, but we have ten other official language	英語が公用語として話されていますが、ほかに10の公用語があります。
We have many national parks with diverse wildlife.	多様な野生生物が生息する多くの国と公園があります。
Now, I want to introduce Ms. Ota Yuka to you.	さて、皆さんに太田ゆかさんを紹介したいと思います。
She is a safari guide in Greater Kruger.	彼女はグレーター・クルーガーのサファリガイドです。
Today, she will guide us through the safari in real time on the internet.	今日は、彼女がサファリの中をインターネットでリアルタイムに案内してくれます。
Here's Ms. Ota.	こちらが太田さんです。

Unit1 Part2 南アフリカからの生中継

Ms.Ota	Hello!	こんにちは。
	Welcome to our amazing virtual safari tour.	私たちびっくりするようなバーチャル・サファリ・ツアーへようこそ。
	First, let me show you something interesting.	最初に、皆さんにおもしろいものをお見せしましょう。
	What's this?	これは何でしょう。
	Can you guess?	当てられますか?
Tina	It's big!	大きいですね!
	Is it an elephant's footprint?	像の足跡ですか?
Ms.Ota	Yes, this footprint will help us find the elephant.	はい、この足跡は私たちが像を見つけるのに役立ちます。
	It may be near here.	近くにいるかもしれません。
	Let's go and look.	行ってみてみましょう。
	Later:	その後
Ms.Ota	Look over there, Elephants!	あそこを見てください。 像です。
Kota	Yeah, what are they doing?	ああ、彼らは何をしているのですか。
Ms.Ota	Well, they're bathing in water to keep cool.	ええ、彼らは涼しさを保つために水浴びをしています。
	They also bathe in mind.	彼らは泥浴びもします。
	They like to keep themselves clean and healthy by bathing	彼らは水浴びによって自身を清潔で健康にしておくことを好みます。
Eri	I didn't know that.	知りませんでした。

Unit1 Part3 太田ゆかさんに質問

Hajin	Ms. Thusi told us that you also do conservation	ツイ先生が、あなたは保護活動もしていると話してくださいました。
Ms.Ota	Yes. That's my other job.	はい。それは私の別のもう一つの仕事です。
	I monitor animals' lives, and I protect them.	私は動物の生活を監視し、そして動物を保護します。
	Illegal hunters kill the rhinos for their horns.	違法な猟師は角を獲るためにサイを殺します。
Eri	That's terrible.	それはひどいですね。
Ms.Ota	We cut off their horns safely so that illegal hunters won't kill them.	私たちは違法な猟師がサイを殺さないよう、サイの角を安全に切り落としています。
Kota	What's your message for us in Japan?	あなたが日本にいる私たちに伝えたいことはなんですか。
Ms.Ota	In the savanna, there is an ecosystem.	サバンナには生態系があります。
Kota	All living things are connected in a circle of life.	すべての生物は生命の輪でつながっている。
	Each one depends on another to live.	それぞれの命が生きるために別の命に頼っています。
	Humans should respect this.	人間はこのことを尊重するべきです。

Unit1-Goal 記事を読んでコメントしよう

Giant Pandas No Longer Endangered

Great news! Giant pandas were removed from the endangered species list in China in 2021.

In the 1980s, because of hunting and destruction of bamboo forests, giant pandas became endangered.

People found that the situation was serious and started working hard to protect and breed pandas.

Thanks to their efforts, today it is said that more than 1850 pandas remain in the wild in China.

However, the panda's future is not yet secure.

So, many people in China are still working hard.

These days, smart technology like the "Digital Panda System" is helping them protect panda habitats.

For example, the system can find wildfires in the deep forest from the sky.

The success of their conservation activities gives us hope for other endangered spicies.

ジャイアントパンダはもはや絶滅危惧種ではない。

素晴らしいニュースです! 2021年にジャイアントパンダが中国の絶滅危惧種リストから取り除かれました。

1980年代には、刈谷竹林の減少のために、ジャイアントパンダは絶滅の恐れがありました。

人々は状況が深刻だと気付き、パンダを保護して繁殖させるために一生懸命取り 組み始めました。

彼らの努力のおかげで今日では中国には1850頭を超えるパンダが野生下で生存しているといわれています。

しかしながら、パンダの将来はまだ安全ではありません。

そこで、中国では多くの人々がいまだに一生懸命取り組んでいます。

最近では「デジタルパンダシステム」のようなスマートテクノロジーを活用し、 パンダの生息地を守っています。

例えば、そのシステムは、そらから深い森の中での山火事を見つけることができます。

彼らの保護活動の成功は、私たちにほかの絶滅危惧種への希望を与えてくれます。

<音声内容>

英文

Part1 (p11)

- (1) I'd like to tell you about some famous products from my country. I have three photos. First, look at this. These are beadwork bracelets. Beadwork is one of the most famous traditional craft in South Africa. Many kinds of bracelets are sold at markets in cities. They are colorful and bright. I think they are suitable products for the Rainbow Nation.
- (2) Next, look at this photo. This is pap. Pap is a traditional South African food. It's a kind of porridge, or okayu. It's often served with meat. It's tasty.
- (3) Look at the last photo. This is a famous drink in South Africa. It's called rooibos tea. Rooibos is the name of a plant. It's found only in South Africa. Rooibos tea is good for your health, so people tried to grow rooibos in some other countries, but they couldn't. Rooibos can be grown only in my country. I don't know why. It's a mystery.

Part2 (p13)

Nick: Hi,Kota. How are you?

Kota: Not good. I'm so sleepy.

Nick: What's the matter?

Kota: I had a lot of homework last week and studied late every night.

Nick: Did you finish it all?

Kota: Yes. Eri helped me do my homework.

Nick: She's so kind.

Kota: Yes, she is. But she can be strict, too!

Nick: I know. I like that about her. Hajin's kind, too. He helped you practice basketball, right?

Kota: That's right. He helped me practice passing the ball and shooting. I'm much better at basketball now. I'm lucky to have such good friends.

Nick: How about Tina?

Kota: Tina? She's always kind to people. I bet she helped you a lot! Nick: Well, sometimes. She helped me wash the dishes on Sundays.

Kota: Do you help her with anything?

Nick: No, not really.

Kota: Come on, Nick. Be nice to your sister!

Extra Story (p14)

Tina : Why did you become a safari guide, Ms. Ota?

Ms. Ota: Because I love animals, and I wanted to work for wildlife conservation.

When I was in college, I volunteered to work for the Savannah Conservation Project in Botswana.

There, I was totally blown away by the scale of nature in Africa.

I was attracted to the work of safari guides, too.

Eri : I think you are brave to go to Africa alone.

Ms. Ota: You only get one life. It's a waste not to challenge yourself.

If you take the first step toward your interests, you'll find a way.

Part3 (p15)

Tina: Did you find anything about South Africa?

Kota: Yes. Look at this photo.

Tina: Oh, they're very cute.

Kota: Ms. Thusi told us that they have many national parks with diverse wildlife.

These are called Cope Penguins.

They live on the beach in Cape Town.

Tina: That's sounds nice.

Kota: By the way, how about you, Tina?

Did you find anything?

Tina: Yeah. I found this graph.

Ms. Thusi told us that South Africa has many official languages.

This graph shows us the languages of South Africa, and Zulu is the most popular home language.

Zulu is spoken by 22.7 percent of the people.

Kota: I didn't know that.

English is spoken by less than 10 percent of them.

Tina: That's right.

And I have another graph.

Look. It shows us the number of killed rhinos in South Africa.

Kota: That's terrible.

Ms. Ota told us that illegal hunters kill the animals for their horns.

Tina: Yeah. The number of killed rhinos increased between 2007 and 2014, but it's decreasing these days.

Kota: That's good to hear.

I think the efforts of people like Ms. Ota are having success.

<音声内容>

日本語訳

Part1 (p11)

(1) 私の国の有名な製品についてお話ししたいと思います。

私は3枚の写真を持っています。

まず、これを見てください。

これらはビーズ細工のブレスレットです。

ビーズ細工は南アフリカのもっとも有名な伝統工芸の一つです。

多くの種類のブレスレットが街の市場で販売されています。

それらは色鮮やかで輝いています。

それらはレインボーネーションにふさわしい製品だと私は思います。

(2) この写真を見てください。

これはパップです。

パップは南アフリカの伝統的な食べ物です。

これはポリッジ、つまり「おかゆ」のようなものです。

それはトウモロコシから作られます。

よく、肉と一緒に出されます。

おいしいです。

(3) 最後の写真を見てください。

これは南アフリカの有名な飲み物です。

それはルイボスティーと呼ばれています。

ルイボスというのは植物の名前です。

それは南アフリカにしか見つかりません。

ルイボスティーは健康に良いので、人々はほかの南下国化でルイボスを育てようとしましたが、できませんでした。

ルイボスじゃ私の国でしか育てられないのです。

なぜかはわかりません。

それは謎なんです。

Part2 (p13)

Nick:やあ、コウタ、元気ですか?

Kota:あまりよくないよ、とても眠いんです。

Nick:どうしたの?

Kota:先週は宿題が多くて、毎晩遅くまで勉強していたんだ。

Nick:全部終わった?

Kota:うん、エリが宿題を手伝ってくれたんだ。

Nick:彼女はとてもやさしいね。

Kota:そうだね。でも彼女は厳しいこともあるんだ。

Nick:知っているよ。そういうところが好きです。ハジンも優しいです。バスケの練習を手伝ってくれたんですよね。

Kota:そうだよ。パスやシュートの練習を手伝ってくれたんだ。

今ではバスケもだいぶ上手になったんです。

こんなにいい友達がいてラッキーです。

Nick: ティナ?

Tina: ティナ?彼女はいつも親切だよ。きっと君をたくさん助けているんだろうな。

Nick: まぁ、ときどきね。日曜日に皿洗いを手伝ってくれるよ。

Kota: あなたは何か手伝っているんですか。

Nick: いいえ、特にないです。

Kota: ニック、お姉ちゃんに優しくしてあげなよ。

Extra Story (p14)

Tina: 太田さんはなぜサファリガイドになったんですか。

Ms. Ota: 私は動物が大好きで、野生動物の保護のために働きたいと思っていたからです。

大学時代、私はボツワナのサバンナ保全プロジェクトにで働くことを志願しました。

そこで、私はアフリカの自然の規模に完全に圧倒されました。

サファリガイドの仕事にもひかれました。

Eri: 一人でアフリカに行くなんて勇気がありますね。

Ms. Ota: 人生は一度きりです。

チャレンジしないのはもったいないですね。

自分の興味に向かって最初の一歩を踏み出すと、方法が見つかります。

Part3 (p15)

Tina:南アフリカについて、何か見つけましたか?

Kota:はい、この写真を見てください。

Tina:あら、とてもかわいいですね。

Kota:ツシ先生が、多様な野生生物がいる国立公園がたくさんあると教えてくれたんです。

これらはケープペンギンと呼ばれています。

ケープタウンの浜辺に住んでいるんです。

Tina:それは素敵ですね。

Kota:ところで、ティナはどうですか?

何か見つけましたか?

Tina:はい。このグラフを見つけました。

ツシ先生が南アフリカには多くの公用語があると教えてくれました。

このグラフは南アフリカの言語を示していて、ズールー語が最も多くの家庭で話されている言語です。

ズールー語は22.7%の人々に話されています。

Kota:それは知らなかった。

英語は彼らのうちの10%未満の人々に話されているんですね。

Tina:その通りです。

そして、もう1つグラフがあります。

見てください。それは南アフリカの殺されたサイの数を示しています。

Kota:それはひどい。

太田さんは、違法な狩猟者が角を目当てにその動物を殺すんだと言っていたね。

Tina:はい。2007年から2014年の間に殺されたサイの数は増加したけれど、最近は減少しているね。

Kota:それが聞けて良かった。

太田さんのような人々の努力が功を奏していっているんだと思います。